

陳情第 8 9 号	受理年月日	平成 3 0 年 6 月 4 日
付託委員会	保健病院委員会	
件名	森と自然を活用した幼児教育と子育て環境づくりについて	
要旨	<p>私たちは、子育て中の保護者であるが、幼児期の自然体験の重要性については子供の成長を通して日々実感している。また、その恩恵は子供たちの心身の成長、幼児教育や子育てに携わる保育者、教育者、保護者だけにとどまらない。自然の中で遊び、学び、育まれることは地域社会だけではなく、自然に対する畏敬、生物や他者への思いやりなど、グローバルな視野での普遍的目標にも結びつく。</p> <p>北九州市には、市民センターや親子ふれあいルームなど乳幼児とともに通える場所は現在何カ所もあるが、室内のものに限られる。また、子供の遊び場として公園があるが、遊具遊びが主になる。子供たちは玩具や遊具遊びが好きだが、一つの玩具を取り合ったり、遊具を使う順番でもめたりし、保護者にとってはそういった場所がかえってストレスになる。しかし、自然の中の子育てにはそういったストレスがない。自然には落ち葉、水たまりなど子供たちの遊び道具も遊び場も無限にある。</p> <p>目の前に起こる自然の事象に心奪われ、熱心に観察したり、触れたり、嗅ぐことによって五感を使い、時には驚くべき想像力を働かせ主体的に遊ぶ。自由に走ったり、転げ回ったり、室内ならばとがめなくてはならないようなことも自然の中では必要ない。北九州市は地理的に海も山も近く、自然に大変恵まれている環境である。子供たちが自然の中でのびのび遊べる場や仕組みをつくるべきである。</p> <p>長野県、鳥取県、広島県が「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」を設立した。北九州市もこのネットワークに参加し、他の自治体と情報を共有し、自然保育、教育の更なる普及と質の向上を促してほしい。</p> <p>また、自然保育の認定、認証制度等の施策を取り入れ、森や自然を活用した子育て、保育、幼児教育の場をふやし、多くの保育者、教育者が活躍できるように育成するとともに、多くの保護者が子育て、保育、教</p>	

育の場に参加できるような環境づくりを担っていただきたい。

以上のことから、次のとおり措置していただきたい。

記

- 1 乳幼児が屋外の自然に触れることができる場や仕組みを創設すること。
- 2 「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」へ参加し、支援施策を実施すること。